

どうぶつ 福笑い

動物の絵を描いてみると、実は今まで、“ちゃんと”見ていなかったことに気づきます。

そんな「？」を持って、もう一度動物をじっくり観察してみると、

きっと新たな発見があることでしょう。

こうやって、「観察する楽しさ」や「発見する喜び」を、子どもたちに見つけてもらうために

この環境学習プログラムは開発されました。

動物園での過ごし方がもっともっと楽しくなることは間違いなしです。

さあ、動物園に出かけましょう！

プログラムのねらい

- ・観察する楽しさや発見する喜びを知ること
- ・動物のことを好きになること

対象

小学校低学年から大人まで

用意するもの

- ・ワークシート 人数分×2
(原紙をコピーして使ってください)
- ・鉛筆 人数分
- ・色鉛筆 人数分
(ぬり絵として遊ぶときなどは用意しましょう)
- ・クリップボード 人数分

所要時間のめやす

40分(動物1種類につき)
(ワークシートの記入(15分)+移動(5分)+
観察・答え合わせ・解説(20分)=40分)

下準備

- ①ワークシートを人数×2倍分、鉛筆などを人数分用意しましょう。
- ②大人1人に対して子ども5~6人のグループを作るようにします。
- ③動物園内で行うプログラムです。みんなで集まってプログラムを実施できる場所を確保しましょう。
- ④動物園の職員の方に協力をお願いするのもいいでしょう。

遊び方

ステップ1 : 答えを描く

- 動物園に到着したら、みんなで集まって作業ができるスペースで、
- まず、ワークシートから1種類(ウサギ、くま、リス、モグラから1つ)を選んで、
- 問題の答えを描いて見ましょう。可能なら、ぬり絵のように色を塗ったり、
- 周りの様子なども書きこんでみましょう。

ステップ2 : 答え合わせと解説

- 動物のところまで移動します。
- まず、自分たちが書いた絵と、どこが違うかをよく観察してみましょう。
- 実物の動物はどんな姿をしているのかをよく見たいうえで、
- もう1枚のワークシートにもういちど描いてみましょう。
- *大人たちは、子どもたちがどんな観察をしているか、そして何を発見したかをよく見て、
- その喜びや楽しさを引き出してあげてください。

ステップ3 : まとめと解説

- 子どもたちに感想を聞きます。1枚目と2枚目のワークシートを比べながら、
- 実際に動物を観察してみて何が違ったのか、新しい発見はなんだったかなどを、聞いてみましょう。
- 最後に解説シート(子ども用)を配ります。
- 解説シートを参考にしながら、その中で補足できることがあれば、子どもたちに伝えてみましょう。

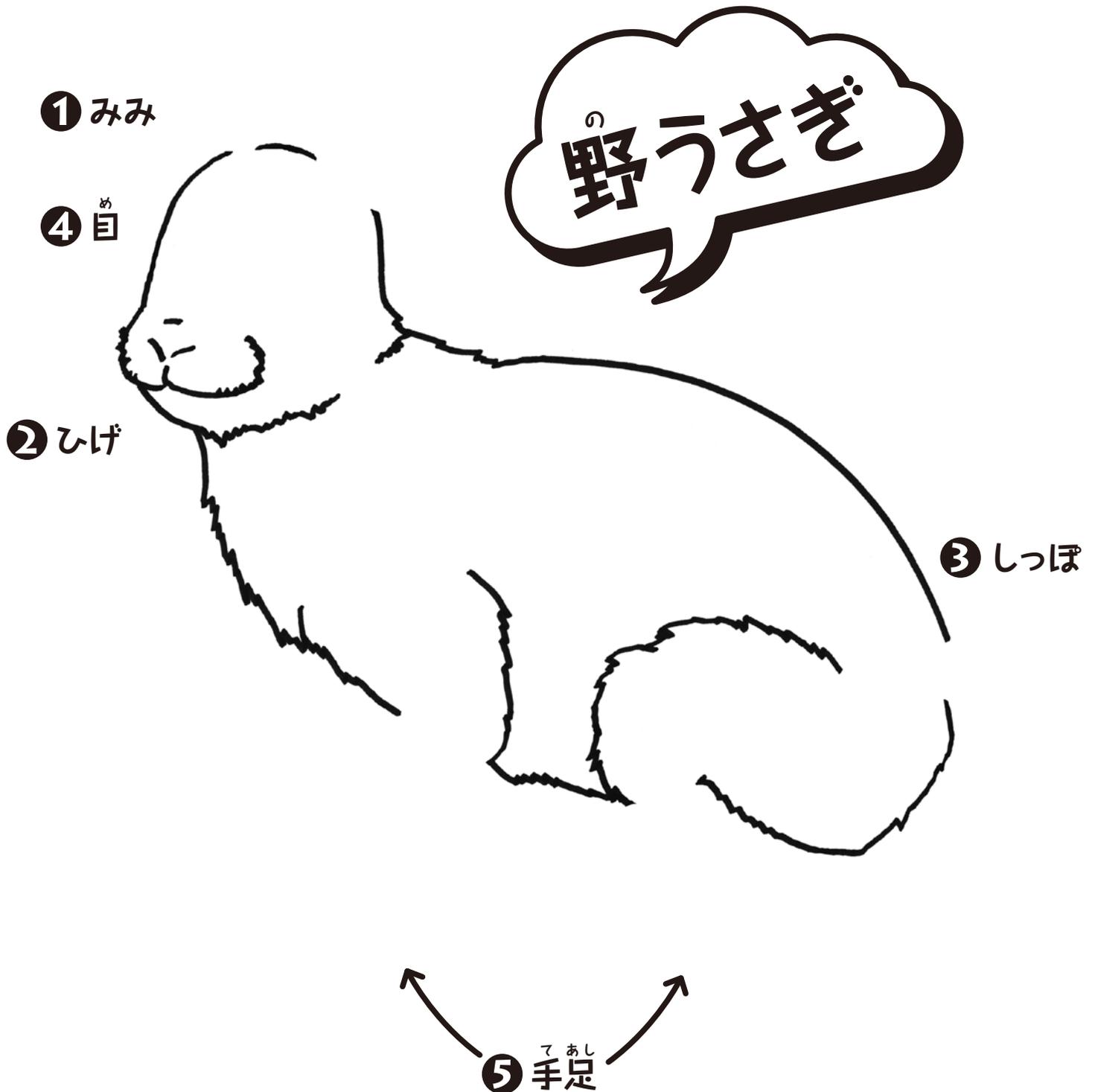
やりかた

1. もぐらの形を思い出してみよう。①～⑤の部分はどんなかたちだろう？
自分が思うとおりに書き足して、絵を完成させてみよう！
2. 絵が完成したら、ほんものの動物を見にいってみよう、どうだったかな？
答えあわせをしてみよう。



やりかた

1. 野ウサギの形を思い出してみよう。①～⑤の部分はどうなかたちだろう？
自分が思うとおりに書き足して、絵を完成させてみよう！
2. 絵が完成したら、ほんものの動物を見にいってみよう、どうだったかな？
答えあわせをしてみよう。



やりかた

1. ニホンリスの形を思い出してみよう。①～⑤の部分はどんなかたちだろう？
自分が思うとおりに書き足して、絵を完成させてみよう！
2. 絵が完成したら、ほんものの動物を見にいってみよう、どうだったかな？
答えあわせをしてみよう。



⑤ 背中の模様



① みみ

④ め目

③ しっぽ

② ひげ



やりかた

1. ツキノワグマの形を思い出してみよう。①～⑤の部分はどんなかたちだろう？
自分が思うとおりに書き足して、絵を完成させてみよう！
2. 絵が完成したら、ほんものの動物を見にいってみよう、どうだったかな？
答えあわせをしてみよう。



⑤ つきのわの模様

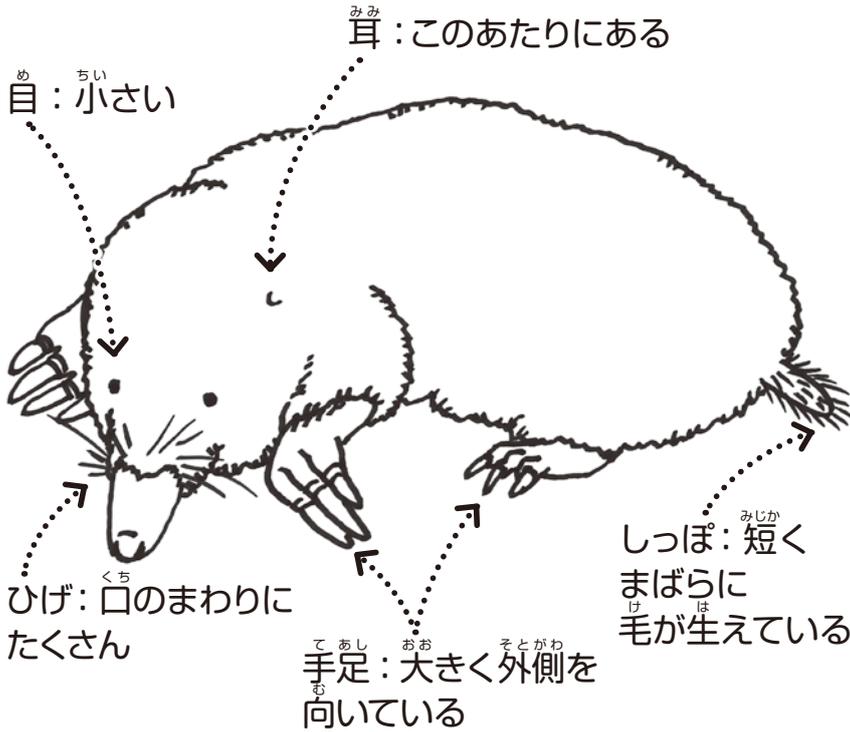
① みみ

② ひげ

④ 手のひら

③ しっぽ

もぐら



? 目が小さいのはどうして?



しっぽにはえている毛がセンサーになっています。

くらい土の中で生活するモグラは、目を使いません。なので目は小さくなりました。(目も見えていません。) 目を使わなくてもひげやしっぽ、鼻先でまわりのようすを感じることができるのです。大好物のミミズもこのひげやしっぽを使うことでみつけることができます。

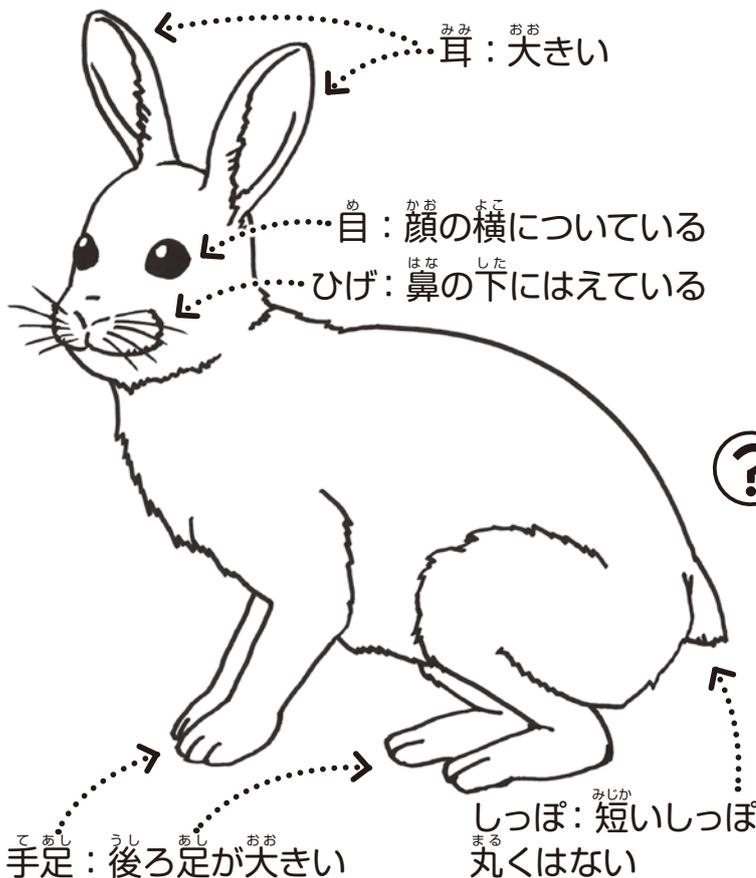
? 手が外を向いているのはどうして?



せまいトンネルで顔の前の土を掘りながら進むことは、泳ぎと似ています。力強い泳ぎには、自由形と平泳ぎがありますね。四本足で歩く動物は肩を回すことができません。だから、モグラは、力強く土を掘るために土の中で平泳ぎ形の手になりました。

切り取り線

野うさぎ



? 耳が大きいのはどうして?



またウサギは逃げる時に全速力で走りますが、体が小さいウサギはすぐに体温が上がってしまいます。ウサギの耳は、ヨットの帆のように風を受けて体温を下げる役目も果たしています。

野生の動物たちは、少しでも早く危険を感じて、敵につかまえられるように耳が大きくなりました。ノウサギだけではなく、シカやネズミなど、大きな耳をした動物はたくさんいます。

? どうしてあんなにジャンプできるの?



もよくジャンプする動物です。こうした丈夫な後ろ足を持っているノウサギもジャンプの名人です。

ノウサギのまえとうしろの足をよく比べてください。うしろ足は、地面に着く足の裏や、太ももがずいぶんしっかりしていますね。カンガルーやカエルと似ているとおもいませんか? 実はどれ

ニホンリス

背中せなかの模様もよう：ニホンリスは、
背中せなかにもようがない。

耳みみ：夏なつは丸まるくて、
冬ふゆは三角さんかく。

目め：顔かおの横よこに
ついてる

ひげひげ：鼻はなの横よこに
長いひげ

しっぽしっぽ：体からだと
おなじくらいおなじくらいの
大きさおほのしっぽ

？ しっぽが大きいのは
どうして？



リスのように木の上きの上で生活せいかつをする
動物どうぶつや、ネズミやネコのように早はや
く走る動物はしはバランスを取るため
に大きなしっぽおほを持もっています。

？ ニホンリスはおしゃれ？



動物どうぶつたちも私わたしたちといっしょで衣ころもがえし
ます。ニホンリスの衣ころもがえはちょっとお
しゃれ。夏なつの間は、おなかの白しろのまわり
がオレンジ色いろになったり、冬ふゆは体全体からだぜんたいが
濃い茶色ちやいろになって、耳みみにふさふさの長い
毛けが生うえたりします。外来種がいらいしゆのタイワン
リスは、胸むねは白しろではなく黄土色おうどいろで、冬
になってもふさ毛おふさにはなりません。

切り取り線

ツキノワグマ

耳みみ：丸まるい

ひげ：ない

つきのわ：あごの下した……
いろんな形かたちがある

手てのひら：
指ゆびは五本ごほん
するどいつめ

しっぽしっぽ：短みじかい

？ クマはスポーツ万能選手ばんのうせんしゆ！？



大きおほなからだの熊くまはのっそりし
ているイメージですが、実はス
ポーツ万能選手ばんのうせんしゆです。木きにの
ぼったり、長距離ちやうきよりを歩き回まわ
ったり、ササが生はえる場所ばしょを走はし
って移動いどうすることもできます。ち
からもすぐで、うでをふり回まわ
すパンチはすごいききめです。

？ クマはこわい？



実は、とてもおく
びょうでかしい動
物どうぶつです。ここに人ひとが
いるぞとか、ここは
危あぶない場所ばしょだと思
うと、すぐ逃にげてい
きます。でも、どん
ぐりなどおいしい
食べ物たべものが簡単かんたんに手
に入る場所ばしょだと思っ
てしまうと、人がすん
でいる場所ばしょでも平気へいきで出で
てきてしまいます。
きちんとすむ場所ばしょを分わけて、みんなが平和へいわ
で暮まらせるためには、正ただしい動物どうぶつのちしきちしきが必
要ひつです。

各問題の答えについて少しだけ解説します。
 子どもたちの興味に応じて、教えてあげてください。
 その他にも動物の生態には面白いことがたくさんあります。
 動物の生態について詳しいウェブサイトなどもありますので、
 是非子どもたちと一緒に調べてみてください。

もぐら



耳……………日本にいるモグラには、耳たぶはありませんが、耳はちゃんとあります。
 ひげ……………吻(ふん)、口の辺りにたくさんあります。横だけではなく、上下左右に長いひげはトンネルの淵に当たるくらいあり、センサーの役目を果たしています。
 しっぽ……………短くまばらに毛が生えています。トンネルを移動するときは、トンネル内部に触れて周りの様子を感知するアンテナの役目を果たしています。
 手足……………手は大きく外側を向いています。平泳ぎをするように土を掘るため爪もよく発達しています。足は手と比較すると小さめで、地面に接しています。手で掘られた土は後足で体の後ろに集められます。
 目……………小さい。地面にトンネルを掘って生活しているため、目は必要がなく視力はありません。

野ウサギ



耳……………大きな耳で、先端が黒くなっています。敵が多いウサギはいつも周り注意を払い集音と放熱の役目をします。
 ひげ……………鼻の横に長いひげがたくさんはえています。
 しっぽ……………短いけれど、丸くはありません。
 目……………顔の横についていて、広い視野を確保しています。平面だけではなくやや上にもズレているため、上の空間も視野に入っています。
 手足……………前に比べると後ろ足がよく発達しています。前と後ろの足をよく観察してみてください。後足が発達しているカンガルーと比較するとよく似ている事がわかります。

ニホンリス



耳……………夏毛は丸いですが、冬毛は長くフサフサしていて、三角に見えます。外来種のタイワンリスは、一年中丸い耳です。
 ひげ……………鼻の横に長いひげがたくさんはえています。
 しっぽ……………体と同じ位長しっぽをもっています。樹上生活でバランスをとるのに、大きなしっぽが役に立っています。
 目……………顔の横についていて、広い視野を確保しています。平面だけではなくやや上にもズレているため、上の空間も視野に入っています。
 手足……………手は器用に物を握ることができます。指は、手が4本で、足が5本です。
 背中模様……………模様は無く、お腹は白いです。背中に縞模様があるのは、北海道に棲むシマリスか、チョウセンシマリスです。

ツキノワグマ



耳……………顔の上にあります、丸い耳です。
 ひげ……………ありません。
 しっぽ……………短いです。
 手のひら……………指は5本並んでいます。
 月の輪の模様……………あごの下にあります。いろいろな形があります。

助 成：平成22年「緑の基金」
 協 賛：東京コカ・コーラボトリング株式会社
 企画制作：樹木・環境ネットワーク協会 (<http://www.shu.or.jp/>)
 制作協力：(株)アーバン・コミュニケーションズ

《ご協力いただいた方》
 早川篤(執筆・監修)
 錦織秀雄 羽倉正
 村井仁志 土屋泉